

安全センター

[発行]
 尼崎労働者安全衛生センター
 [連絡先]
 〒660-0802
 尼崎市長洲中通 1-7-6
 TEL・FAX 06-4950-6653



“緩慢なる惨劇”に立ち向かう6
 (無料)

石綿労災認定の闘いも一歩一歩から

末吉 幸雄 (尼崎安全センター議長)

石綿の布・紐がボロボロに

1968年(昭和43年)に工業高校を卒業して、大手の板ガラス製造会社に就職した。仕事は築炉とガラス溶融だった。

アスベストの手袋、前かけ

電気炉で研究開発のため実験用のガラスを溶解する。シリカルツボにガラス原料を投入し、鉄製のトンダ(大きな鉄のようなもの)でルツボを挟み電気炉に入れる。

トンダにはアスベストが巻いてある。急激な温度変化でルツボが割れないようにするためだ。手にはアスベスト手袋をしていた。1500℃以上の高温で溶かすときには、アスベストの前かけもした。溶解したガラスをステンレス板に流し、これをアスベストボードの上に乗せて徐冷炉に入れ、室温近くになったら取り出す。



(環境再生保全機構)

工場では溶融されたガラスを成型する現場でアスベストを使っていった。設備機器を高温から守るためのアスベスト、成型温度をキープするためのアスベスト、作業中の労働者を高温から守るためのアスベスト…

アスベストは燃えないが、布(クロス)や紐(ヤーン)にするため綿と混ぜられている。そのため高温で使用しているとボロボロになり、粉じんが飛散する。それを定期的に取り換えるのも現場の労働者の仕事だ

石綿粉じんも高圧エアード

自動車ガラスを成型する工場では粉じんがひどかった。800℃前後で加工していくが、温度コントロールが大切なのでアスベストを断熱材として多用した。加熱の工程で昇温中のガラスが割れると、これをすぐに取り除くため高圧エアードで吹き飛ばした。割れたガラスとともにアスベスト粉じんも吹き飛ばされた。

部屋中にアスベストが舞い、隣の職場にも拡散した。

労働者の闘いの積み重ねで

近くの造船所では多くのじん肺・アスベストの被害が出ていて、労災申請に取り組んだ。全造船労組に学び、私たちもアスベスト労災に取組んだが、会社は「アスベストは取り扱っていたが、粉じんは出なかつた。

2017.9 RODOJOHO

つた。組合は粉じんの測定をしたのか」「こちらの職場ではアスベストは使っていない」などとばく露証明をしなかった。
 2年かけて裁判闘争を準備した。2005年の労使協定を締結できたが、クボタショックの前だった。それまで労基署の姿勢は企業よりだつ

たが、クボタショックの世論に押されてからは、会社がばく露証明を拒否しても労災として認めるようになった。
 多くの労働者が闘って労災認定のハードルを下げつつある。一歩一歩、苦労を積み重ねて…

稀代の労基法改悪案にマルクスもびびくり

森岡孝二(関西大学名誉教授)

2017年7月23日付朝日新聞のコラム「天声人語」は、「資本論」が書かれた150年前のイギリスで過労死が問題になっていたことについて、次のように言う。「残業時間を規制するため法改正の動きはあるが、どうも様子がおかしい。「残業代ゼロ」法案を通そうという流れが同時にあり、将来、規制の抜け道に使われるのではと危惧される。対応をめぐって連合内部で意見が割れ、労働界は大揺れである。労働者が死と隷従に追いやられるのを防ぐ。そのための強力な法律を——。マルクスはそんな訴えで(労働時間の)章を終えている。悔しいことに、少しも古びてはいない」
 翻って日本をみれば、150年後の今日でも過労とストレスで倒れる人が跡を絶たない。70年前に制定された労働基準法は、36協定を労使のあいだで結んで労働基準監督署に届け出れば、1日8時間を超えていくらでも労働時間を延長できる仕組みになっている。

この36協定を見直して時間外労働を規制するという触れ込みで、政労使合意の「実行計画」がこの春まとまった。それは、1日および1週間については延長の上限を定めず、「臨時的な特別の事情がある場合」は、年720時間(休日労働を含めれば960時間)以内、単月100時間未満、2〜6ヵ月平均80時間以内の過労死ラインの残業を法認II放任するもので、労働時間のいっそうの規制緩和にほかならない。

この「過労死放任」法案が、上程済みの「残業代ゼロ十裁量労働制拡大」法案とセットに、この秋の臨時国会で審議入りすると予想されている。マルクスもびびくりのこの稀代の労基法改革案を通してはならない。

医療・介護での 〈接遇〉を考える

阪神医療生協第三診療所 接遇向上委員会

接遇は、対人関係におけるとても重要な技術です。医療・介護の仕事においても、患者様、利用者様に「安心・信頼・満足」を届けるためには、私たち施設職員が身につけるべき不可欠な要素と言えるでしょう。

「接遇」とは、言葉からわかる通り、「接して遇する」ことです。「接」とは触れ合うこと、「遇」とはもてなすことを意味し、思いやりの心を持って御世話をすることです。

相手に関心を寄せて

「思いやりの心」とは相手を思いやることです。それは、相手の立場に立って相手の考えや気持ちに思いを寄せること、相手に興味を持ち関

心を寄せることです。

「思いやりの心」は目には見えませんが、行動にして初めて相手に伝わります。この行動する方法が礼儀作法です。社会人であれば、言葉遣いや挨拶・身だしなみ等の「形」に尊敬や感謝の気持ちを込めて表します。

人間関係と良い接遇

患者様・利用者様は、自分ができるように扱われているかを、接する側の言葉や態度、表情、動作から判断します。「あなたは私にとってとても大切な方です」ということを言葉や態度のすべてに表す接し方が「良い接遇」になります。



良い接遇が、良い人間関係を作り上げるのです。周囲の人を大事にする基本姿勢が、周囲の人から認められる自分自身の存在を作り上げていきます。

接遇と仕事の実力

職場で仕事を通して接遇をおこなう時に必要な要素は、「人間性プラス仕事の能力」です。接遇と仕事の能力とは別のものではなく、両者を切り離して考えることはできません。接遇能力を高めるには、仕事そのものの実力を高める必要があります。

治療の意欲を引き出す

人間には自然治癒力というものがあります。この自然治癒力は心の状態によって発揮されたり、後退したりすると言われています。

患者様が来院するたびに職員に冷たくされたり、無愛想な応対を受けたら、次第に落ち込み、自ら直そうとする意欲がさがれてしまいます。逆に職員から温かな声をかけられるなど、いつ来ても快適なサービスを受けていると、心が明るく前向きになり、自然治癒力がどんどん発揮されていくでしょう。優しい思いやりのある接し方や心地よい環境が、前向きに病気と立ち向かう意欲を沸き立たせることになるのです。

人と人の良い関わり

介護に必要な利用者様と介護スタッフは、対一の人間関係の中で仕事をしていくことになります。利用者様の身体に直接触れる機会も必然的に多くなります。

対一の関係ですから、介護スタッフの表情、一挙手一投足、一言一句が相手に敏感に伝わります。まったくごまかしのきかない状況と言え

ます。「嫌だなあ」という思いを瞬間でも持てば、そのままストレートに相手に伝わってしまいます。介護スタッフの心の持ちようがそのまま伝わり、言っても大げさではないでしょう。



従って何よりも大事なことは、「どのような気持ちで利用者様に接するか」ということ、つまり「接遇」です。接遇とは「人と人との良い関わりを生み出す営み」です。介護の仕事は、介護する側とされる側のより良い関係が築かれなければ成立しない仕事と言えるのではないのでしょうか。より良い関係を

築くには何が必要かと言えば、介護技術はもちろんです。それ以上に重要となるのが「相手の心を大切に接し方」です。これを言いかえれば「利用者様が主役」ということです。

高齢者は「人生の先輩」

介護に必要な高齢者は皆「人生の先輩」であるということです。「人生の先輩」として尊敬の念を持っていけば、言葉の使い方もおのずと違ってくるはず。人生の先輩というキーワードを忘れないでください。

尼崎労働者安全衛生センター第28回総会 ご案内

特別講演「残業代ゼロ法案と『働き方改革』」

尼崎労働者安全衛生センター 議長 末吉 幸雄

私たち安全センターは間もなく第28回目の総会を迎えます。この一年も定例交流会、安全と衛生の講演会の取組みを加入労組・団体と共に、着実に進めてきました。安全衛生活動は私たちの働く職場をより安全に・快適なものとしていく具体的な改善運動です。具体的な改善は現場の労働者が集まる労働組合の理解と行動から生まれます。安全センターでの交流会や学習会がその役に立つよう、第28回総会で多くの労働者と取組みを共有、検討したいと思っております。

今、長時間労働（過労死）、正規・非正規労働者の格差、高齢者の就業、保育・介護労働者の人手不足など労働者や社会にとって様々な問題が山積しております。政府は「働き方改革」と称してそれらの改善を図るとしています。

今回の特別講演では「残業代ゼロ法案と『働き方改革』」をテーマとして弁護士の間秀和さんにお話をいただきます。働き方改革の詳しい中身はどうなっているのか、労働組合として労働者の安全と健康を守るためには知っておく必要があります。皆さまのご参加をお待ちしております。

(誰でも参加可。無料。)

記

と き：9月28日(木) 午後6時～8時

特別講演：「残業代ゼロ法案と『働き方改革』」

講師：在間 秀和さん(弁護士)

と ころ：尼崎市立中小企業センター会議室402

TEL：06(6488)9501

○阪神尼崎駅から北東へ徒歩5分

○都ホテルニューアルカイク南向かい側

お問合せ先 06-4950-6653 (塩見、飯田)